

農業者年金へ加入しましょう

～農業者年金の特徴とメリット～

くわしくは 農業委員会事務局 ☎0288(2)5173

農業者の方は、国民年金に上乘せの公的な年金「農業者年金」に加入して、安くて豊かな老後を過ごしましょう。

農業者年金は「終身」で年金を受給でき、万が一の場合は死亡一時金も受け取れます。

加入資格は3つだけ。農地の権利名義は不要

①年間60日以上農業に従事

②65歳未満

③国民年金の第1号被保険者(国民年金の保険料納付免除者を除く)

※夫婦、子がそれぞれ1人ずつ加入できます。

※国民年金の付加年金への加入が必要です。

※国民年金基金や確定拠出年金(イデコ)との重複加入はできません。

保険料は設定自由。加入・脱退も自由

保険料は月額2万円から6万7,000円の間で、千円単位で自由に決められます。

脱退した際は、保険料を将来年金として受給できます。再加入も可能

です。

事務経費は国が負担しているため、払った保険料の全額が運用されます。

税制面の優遇措置があります

納付した保険料は、全額社会保険料控除の対象になります。

一定の要件を満たす農業者には保険料の国庫補助があります

認定農業者で青色申告をしているなど、農業の担い手となる方は、国から月額最高1万円の保険料補助があります。



令和5年度コミュニティ助成事業(一般)の実績

くわしくは 地域振興課 市民協働推進係 ☎0288-21-5147

コミュニティ助成事業とは

一般財団法人自治総合センターが、宝くじの社会貢献広報事業として、地域コミュニティ活動の充実・強化による地域社会の健全な発展と住民福祉の向上を目的に、コミュニティ活動に必要な備品などの整備に対して助成を行う事業です。

令和5年度の整備状況

市は、今市地域のコミュニティ活動の充実を図るため、この事業を活用し、今市地域の自治会が使用できるように、ポータブル電源、チェーンソー、空気清浄機などの備品を整備しました。

市は、自治会や自主防災会など、地域コミュニティの活性化に向けて、コミュニティ助成事業をはじめとした、さまざまな支援を行っています。皆さんが暮らすそれぞれのまちを、より一層住みやすく、安全で安心できるまちにするためには、地域の絆が大きな力になります。

皆さん、コミュニティ活動に積極的に参画し、地域の元気アップを図りましょう！



▲ポータブル電源



▲空気清浄機



▲チェーンソー



9～10月に行われたイベントなどについて
お知らせします

竹部 茉桜選手 市長表敬訪問

9月22日(金)、市内在住のスラックライン選手である竹部茉桜さん(高校3年生)が、6月にドイツで行われた「トリックラインワールドカップ2023」のシュツットガルト大会とミュンヘン大会で2大会優勝を果たし、市長へ表敬訪問しました。

「スラックライン」とは、幅5cmのベルトを150～180cmの高さに張った上で、ジャンプや回転などの技を競う競技で、10年ほど前から日本でも行われています。栃木県には若き強豪選手が多く、竹部さんもその一人です。



世界を魅せるジャンプ

市長にワールドカップの感想を聞かれた竹部さんは「昨年はワールドカップで2位となり、とても悔しくて、たくさん練習を重ねました。今年は練習の成果をすべてぶつけて優勝することができ、とてもうれしかったです」と笑顔で話しました。



大会の記念品を手に2ショット

竹部さんの
Instagram



美しく照らされた和傘に見とれるご家族



光が織りなす幻想的な空間



伝統ある和室での一杯は格別



お茶を飲んで、笑顔がこぼれます



月あかり花回廊

9月22日(金)～11月30日(木)に、「月あかり花回廊第14章」が鬼怒川温泉エリアで開催されています。

ホテルや観光施設などでは、「まちなか月あかり」として、装飾がされたほか、飲食店を利用すると特典が受けられる「まちなか幸せグルメ」も同時に行われています。

9月22日～10月9日に、鬼怒川公

園会場では、和傘と明かりを使用した鬼怒川公園森のエリアがライトアップ。また、演奏会や花火の打ち上げなど、訪れた人々は、幻想的な美しい空間に息をのんでいました。神奈川県から訪れていた板倉さんは、「初めてこのイベントに来ましたが、とてもきれいですね」と笑顔で話してくれました。

日光茶会

10月1日(日)、輪王寺本坊表書

院と輪王寺紫雲閣を会場として日光茶会が開催されました。平成7年の国民文化祭の茶会会場として、日光山内地区が選ばれたことをきっかけに続けられてきた催しです。

今回は、輪王寺本坊に表千家、輪王寺紫雲閣に裏千家と大日本茶道学会の計3席が設けられました。参加

者は、伝統ある室内で、お茶やお菓子などの各流派のおもてなしを堪能したり、道具や掛け軸、絵画などに目を凝らしたりしていました。東京から友人と訪れた北村さんは、「毎回、日光茶会に訪れています。ふるさとの日光で、世界遺産の中のできる特別な環境で、お茶を楽しむことができました」と話してくれました。